

カンキツ「天草」の果皮の退色防止法						
<p>[要約] 「天草」は袋掛けや樹体被覆によって、果皮の退色を防止できるが、退色前にし貯蔵したほうが果皮色の赤味はより向上する。</p>						
長崎県果樹試験場・常緑果樹科	専門	栽培	対象	果樹類	分類	指導
平成9年度長崎県果樹試験場業務報告						

[背景・ねらい]

新品種「天草」は果実外観がきれいで、食味も良いことから産地化が期待されている。しかし、収穫時期が遅くなると陽光面を中心に果皮が退色することが多い。そこで、収穫時期の早晩や被覆処理が果皮色や果実品質に及ぼす影響を明らかにし、収穫適期と果皮の退色防止法を解明する。

[成果の内容・特徴]

- ①糖度と酸含量は収穫した果実と樹上に残した果実で違いはみられない（表1）。
- ②果皮色のa値は、樹上に無袋で残した場合、陽光面で低下が激しく、日陰面でもa値は増加しない。袋掛けや樹体被覆によって果皮の退色を抑えられるが、収穫した果実ほどにはa値は増加しない（表2）。
- ③1月末まで樹上に無袋で残した果実は、寒害をうけることもある。

[成果の活用面・留意点]

果皮色と酸含量の推移を確認しながら適期収穫に努める。

[具体的データ]

表1 「天草」の収穫時期及び被覆処理と果実形質

収穫 時期	調査 時期	処 理 [*]	果実重 (g)	果肉歩合 (%)	糖 度		酸含量		糖酸比
					平均	偏差 [†]	平均	偏差 [†]	
12.15	12.16	—	186	81.9	12.4	0.76	1.20	0.16	10.5
12.15	1.27	貯 蔵	172	86.1	12.3	0.57	0.98	0.14	12.7
1.26	1.27	無 袋	178	86.6	12.7	0.75	1.04	0.10	12.3
1.26	1.27	袋掛け	188	84.2	12.6	0.65	1.01	0.09	12.5
12.15	12.16	—	172	84.1	10.9	0.62	1.28	0.14	8.6
1.26	1.27	被 覆	175	83.5	12.5	0.67	1.09	0.14	11.6

^{*} 袋掛け：クラフト紙袋で果実を被覆，樹体被覆：不織布（ハスライトイネ）で樹全体を被覆
 収穫期以降は常温貯蔵

[†] 標準偏差

表2 「天草」の収穫時期及び被覆処理と果皮色（赤道部）

処 理	調査面	a 値 [*]				増減 [†]	a / b 値 [†]	
		12.15		1.26			12.15	1.26
		平均	偏差 [*]	平均	偏差 [*]		平均	平均
収 穫	陽光面	29.7	4.2	35.9	4.1	6.2	0.50	0.65
"	日陰面	34.6	3.3	39.8	3.3	5.2	0.61	0.72
無 袋	陽光面	29.3	4.4	26.5	3.9	-2.9	0.48	0.42
"	日陰面	35.0	6.2	35.3	4.2	0.2	0.63	0.62
袋掛け	陽光面	29.2	3.2	33.8	3.0	4.7	0.48	0.56
"	日陰面	36.1	4.7	39.4	4.0	3.3	0.60	0.69
被 覆	陽光面	30.5	2.8	33.0	3.7	2.5	0.50	0.55
"	日陰面	35.5	3.5	37.1	4.0	1.6	0.60	0.66

^{*} 赤色度

^{*} 標準偏差

[†] 着色の良否を示す指数

[†] 1月26日測定値 - 12月15日測定値

[その他]

研究課題名：中晩生カンキツの特性調査並びに栽培試験

予算区分：県単

研究期間：平成9年度（平成6年～10年）

研究担当者：濱口壽幸

発表論文等：平成9年度 長崎県果樹試験場業務報告